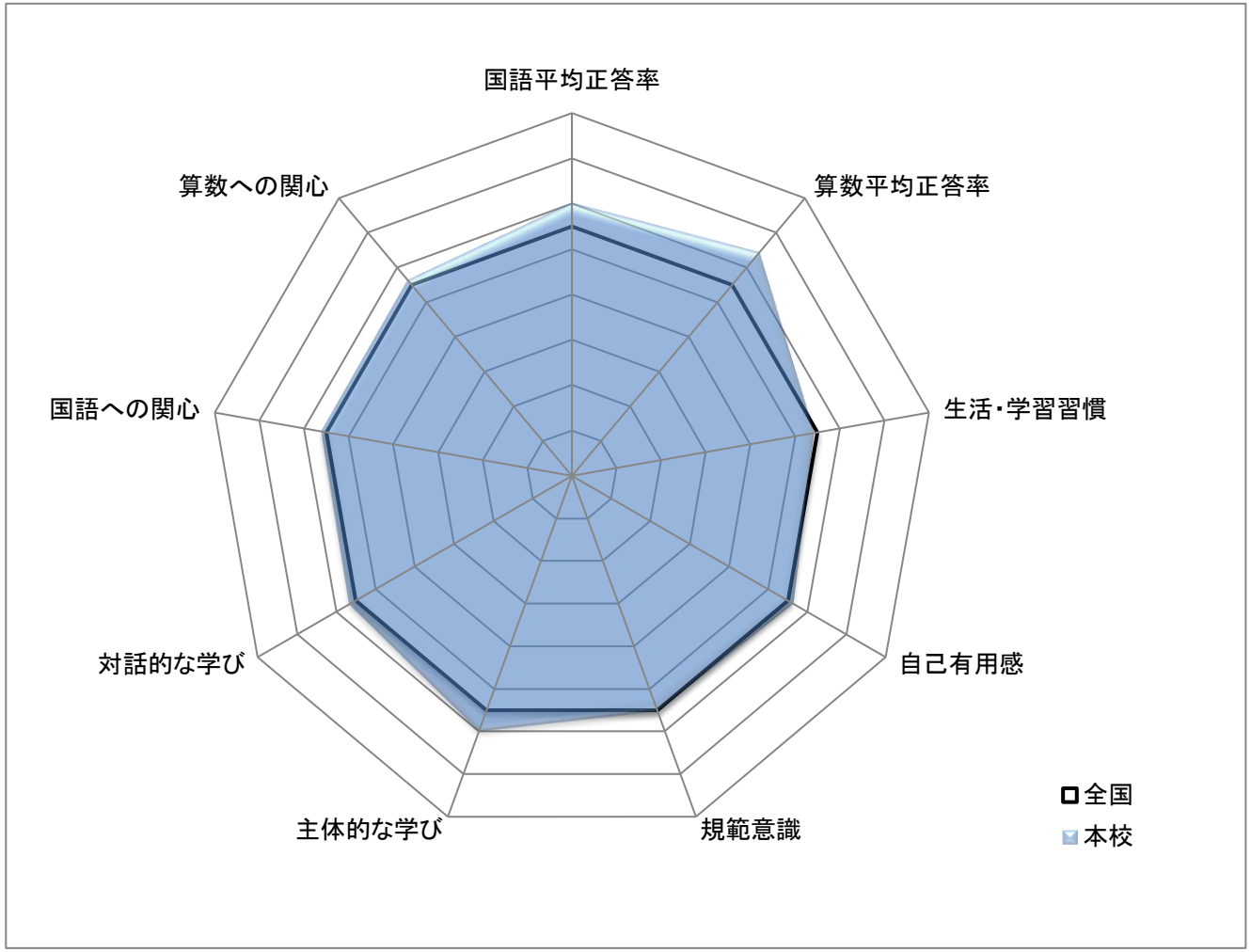
令和５年度 全国学力・学習状況調査結果における課題分析表（小学校）

江戸川区立清新第一小学校

●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

国語は、どの領域においても平均値を超えている。しかし、情報の扱い方に関する事項については東京都の平均値より０・５ポイントのみを上回る程度であり、情報と情報との関係について理解したり、文章と図表とを結びつけ、必要な情報を見付けたりする情報活用能力に課題がある。一方で、記述式で自分の考えを書く正答率が東京や全国平均値より１０ポイント上回り、自分の意見をまとめて書く力が身についていることがわかった。

算数は、どの領域においても平均値を超えており、特に「数と計算」「変化と関係」の正答率は高い。全体の結果を見た中で課題と思われる領域は「図形」である。特に、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題の正答率が４１．１％と正答率が低かった。また、正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題の正答率が８９．２％で、都の平均率を唯一下回っていた。

《授業改善のポイント》

国語では、「情報活用能力」についての正答率が低かった。国語だけでなく、どの教科においても、図や表に示された情報を読み取る学習を積極的に取り入れる。また、その情報を正確に読み取り、要約や考察することで、自分の考えを深めることが必要である。また、自分の意見をまとめて「書く」活動を今後も継続して取り組んでいく。

算数では、なぜその計算方法を使うべきなのかを友達に説明する場面を多く取り入れ、目的に合った処理の仕方を選択したり、その理由を説明したりする力を育てていく。また、図形の性質や面積の公式を覚えるだけでなく、問題に生かせる活用力を高める。例えば、各単元において、既習の学習が日常で生かせる場面を見つけたり、応用問題を解いたりする時間を充実させることが考えられる。

《チャートの特徴》

学力調査の結果では、国語・算数への関心とともに、全国平均を上回っている。また、平均正答率についても全国平均・都平均を上回った。
学習状況調査の結果では、いずれの項目においても全国平均・都平均を上回っているが、「規範意識」、「自己有用感」、「生活・学習習慣」の数値がやや低い傾向にある。「主体的な学び」は高い傾向にあり、自分から課題を見付け学習する力が身に付いており、国語・算数の平均正答率との関連も考えられる。

《家庭・地域への働きかけ》

ホームページや学校便り等で、全国学力・学習状況調査の結果を公表する。調査結果の個票を返却する際には、一人一人の課題を共有し、各家庭での取り組みや励ましへの参考としていく。また、規範意識の向上や生活習慣定着のために、保護者会や家庭学習週間の取り組みを通して協力をお願いしていく。